



Rotary International District2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
 ■会長：福本良平 ■副会長：植村将史 幹事：高辻良成

発行日 / 2014年12月2日

2014-2015/20

Vol.36

No. 1720

hp: <http://naraomiya-rc.jp>
 E-mail: info@naraomiya-rc.jp
 2014-15年度当クラブテーマ

『ロータリアンとしての誇りをもって』



国際ロータリー第2650地区

ガバナー 北河原 公敬

「ロータリーは心くぱり」



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長報告

本日は会長報告がございませんので、すぐに指名委員会からの発表をお願いしたいと思います。
 奈良大宮ロータリークラブ細則第3条第1節(a)に、「年次総会1週間前の例会において、指名委員会は、次々年度会長候補および次年度副会長、幹事、会計および他の5名の理事候補者を指名し、その氏名を発表しなければならない」とありますので、富川指名委員長、候補者の発表をお願いします。

【富川指名委員長】

それでは指名委員会から、次々年度会長並びに次年度理事役員の候補者が決定致しましたので発表します。

次々年度会長 潮田悦男 君
 次年度副会長 多田 実 君
 幹 事 高野 治 君
 会 計 大塩栄作 君
 理 事 楠下重郎 君、佐川 肇 君、増井義久 君
 堀内眞治 君、平方貴之 君

以上でございます。尚、次々年度会長に立候補者はございませんでした。(これら候補者については)次週総会に於いて採決されることになっております。よろしくお願い致します。

【福本会長】

ありがとうございました。

委員会報告

ロータリー財団常任委員会：潮田委員長

11月がロータリー財団月間でございます。まだ若干名寄付頂いていない方がいらっしゃいますので、忘れずになるべく早く寄付をお願い致します。何度も話しておりますが、この寄付金の半分はうまくすれば返って来るお金ですので、その点、よろしくお願い致します。

RID2650地区：武藤副幹事長

地区大会や地区の件ですが、今現在行われていることにつきまして若干お話致します。

例会プログラム

第21回12月2日

通算1720回

1. 開会の点鐘
2. ソング
「君が代」
「大宮ロータリーソング」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 卓話
株式会社キャリア・フォース
代表取締役 平山智一様
「働きがいのある職場作り」
6. 閉会の点鐘

例会状況報告

第20回 11月25日

通算1719回

◎会員数 78名
 ◎出席規定免除者数 2+25名
 ◎出席義務者数 51名
 ◎欠席者 16名
 ◎出席者 51名
 ◎出席率 76.12%

第18回 11月11日

通算1717回の修正

◎会員数 78名
 ◎出席規定免除者数 2+25名
 ◎出席義務者数 51名
 ◎欠席者 8名
 ◎補填者 3+5名
 ◎出席者 70名
 ◎出席率 95.89%

皆様方に特にお願いしたいのは、勿論それまでに色々なことで役に加わって頂いたメンバーの方もたくさんおられますが、4月11日-12日にかけての受付・誘導・案内という所が主たる業務になると思います。出来ましたら冠婚葬祭を除きましては、皆様、来年4月11-12日はお体を空けておいて頂きたいと思えます。役割分担につきましては、現在地区の委員会の方で皆様方の全ての方につきまして、どの部門でお願いするか、ということを取り決めておるところです。またこれが大筋決まりましたら、セクションごとにミーティングを開いて頂き、また場所にも見学方々行って頂いて、案内や受付の順路などを決めて頂くことも順次必要になろうかと思っております。若干まだ時間がございますので、何かご質問がありましたら、お答えできる分につきましては、お答えしていきたいと思えます。もし質問がなければ、いま私が申上げたようなことで地区大会については粛々と現在準備を進めておるところですので、また時々皆さん方の方から「これどうなってんねん」と遠慮なく訊いて頂けたら、その都度答えて行きたいと思えます。

(質疑応答)

質問がないようですので、いま私どもの近況と申しますか、地区大会に対しての準備についてはそんなことで準備を進めておるといふことをご理解を頂きたいと思えます。また本当に大きな大会ですので、今後皆様方にも色々ご無理を申し上げることも多々あろうかと思えますし、また皆さん方の方からもご質問やわからないことなど、「こうした方が良いで」といふようなことがありましたら、遠慮なく有井幹事長、副幹事長が4名おりますし、その他の地区大会の委員も7名おりますので、そちらに遠慮なくお申し出頂ければ、と思えます。どうも貴重な時間、有難うございました。

幹事報告

次週は先ほどもありました通り、年次総会です。欠席なさらぬようよろしくお願い致します。その後例会終了後、クラブ協議会を行ないます。各委員長発表をお願い致しますとともに、クラブ協議会は原則として会員全出席ということになっておりますので、終了も少し遅くなりますがご理解の上、ご参加頂きます様に宜しくお願い致します。

ロータリーリーダーシップ研究会(RLI)パートIII修了証・卒業証 授与

- ・武藤廣茂 君
- ・弓場裕史 君



ロータリー語録

「大切なことは何をどれだけしたかではなく、どれだけ心をこめたかです」
(マザー・テレサ)

航空自衛隊幹部候補生学校長 兼 奈良基地司令 空将補 大浦弘容様
「我が国周辺的情勢と今後の防衛力整備について」

皆さん、こんばんは。私は法華寺町にあります幹部候補生学校の学校長をやっております大浦と申します。本日は、奈良大宮ロータリークラブの皆様の前でお話しできることを、非常に光栄であると思っています。日頃から、社会福祉もしくは社会奉仕にご貢献されているという話を聞きまして、非常に敬意を表したい思いでございます。

先程ご紹介頂きましたとおりレーダー管制官で、この制服を着ていると航空自衛官は皆パイロットというふうに見える方が多いのですが、実は、パイロットを支えるために、航空機整備やレーダー管制官を含めて、多くの人間が一生懸命働いています。私も、パイロットを支える一職域の人間と理解して頂きたいと思います。私は、レーダーサイトという部隊を経験しながら、スキルを高めていきました。私の最初の部隊は、福島県の大滝根山で日本で一番高いレーダーサイトであります。このレーダーサイトのレーダーが我が国に接近する航空機を最初に捉えるということで、全国に28箇所のレーダーサイトがあります。その後、私は、防空管制隊長を那覇で、そして防空管制群司令を福岡県春日で、それぞれやっております。こういう形で、徐々に部下の隊員を増やしながら、スキルを高めていくというような流れになっております。実は、私は少し特異な経験もしております。三佐、昔でいう少佐のころに、新聞社で1年間の研修をさせていただきました。文字通りに新聞記者をやりました、その時にうまれたのが、細川政権、そして羽田政権、最後は村山政権ということで、1年間に3回、総理大臣が変わった時期で、非常に勉強になりました。その後、私は、日米共同の関連の仕事をしていただきました。これは、ガイドラインと言いまして、日本とアメリカの中で、共同計画を作るための方針を定めるところがあります。その計画の担当をさせていただきました。また、特異なところでは、防衛白書を作成したり、もしくは、有事法制ということで、小泉政権の時に有事法制ができましたが、その法律の作成も担当させていただきました。最後は、統合運用検討ということで、平成18年に統合運用、陸海空の運用を全部一元的に統合するような形になりましたけれども、その準備の方も担当させて頂いたという状況であります。

まず、幹部候補生学校の概要について、簡単にご紹介致します。これが基地の全景であります。3つの古墳に囲まれたところにあります。この3つの古墳ですが、どうもお聞きすると、イワノヒメミコとヤタノヒメミコのお墓だと聞いております。この2人は両方とも仁徳天皇のお妃さままでいらっしゃいます。そういう古墳群に囲まれた静かなところで、我々は、日夜、励声訓練に、教育に励んでいる状況であります。次に基地の沿革であります。当初は、昭和17年4月に、当時の厚生省の西部国民勤労訓練所として開設されまして、昭和20年、米軍が接收して米陸軍が駐屯したと聞いております。その後、接收解除されまして、航空自衛隊の幹部候補生学校ができるのですが、なぜ滑走路も飛行場もないところに航空自衛隊が、と思われるかも知れませんが、しかしながら、奈良県の、初代の防衛庁長官木村徳太郎先生が、学校だったら大丈夫じゃないかということで、奈良基地を開設されたと聞いておりますが、定かではございません。そういう状況で、滑走路もないところに航空自衛隊があるのは、そういうことなのかな、と思っております。

課程教育ですけれども、基本的には1年が1ローテになります。それで、入校する学生の入校時のスキルに応じて、教育の期間が変わります。例えば、防衛大学校を卒業した者については、自衛隊の基礎ができていますので、それは半年教育、また、部内選抜についても大体同じくらいの期間で行います。部内というのは、空槽で幹部を志して試験で登用される者です。また、一般大学から直接に自衛隊に入隊する者がございます。これについては、約1年の期間で教育をして、幹部候補生としての知識能力を付けて、任官させ、幹部として部隊で羽ばたいてもらうというような流れになっております。

基地広報ですけれども、大体、4月、5月、そして8月に、それぞれ基地を開放しています。4月は桜を見る、5月は基地祭、通常は5月末にやっております。そして、納涼会ということで、盆踊りを開催しております。また、他には、部外協力として、天平祭、もしくはおん祭り、そして我々の学生を実際に支援させて頂いて、地元教育もさせて頂いているという状況であります。

それでは本題に入ります。時間もあまりございませんので、ここの情勢については、今、日本の周りは非常にうるさい、騒がしい、ということをご理解頂ければ良いかなと思っております。アジア太平洋の現在の状況であります。航空機に関しますと、日本の戦闘機は大体400機と言われております。それに対して、極東ロシアが340、中国に至っては2580、北朝鮮600、という形で、やはり非常に中国、北朝鮮は突出しているというふうに見て取れるかと思っております。今、第4世代の航空機が活躍しています。我が国で言うと、F15戦闘機、これが第4世代の戦闘機になります。中国で言えばJ-10という戦闘機です。また、スホーイ27という戦闘機が活動しています。その割合ですが、中国では、今、第4世代の最新鋭と言われる戦闘機は500機以上、これに対して、我が日本は約200数十機のイメージです。で、やはり中国が突出していると思えます。それ以外は、もう古い航空機だというふうに認識して下さい。これは緊急発進の回数です。グラフ的にみると、真ん中付近が冷戦期です。冷戦期の棒が非常に伸びているのが分かります。1000回近くまでいってました。まさに米ソ冷戦の時代を象徴しています。昭和50年代ですね。そこからガクッと減っています。平成に入って減っているのは、ソ連の崩壊です。東側が崩壊してガクッと減ったのですが、また伸び出しています。これは中国の台頭、それと新生ロシアの台頭ということで、経済力が上がっていますので、経済力が上がると軍事活動も上がっていくとご理解頂きたいと思えます。ちなみに、去年が810回ぐらいスクランブル発進していますけれども、今年については、もう上半期で500回を超えています。このままの推移でいくと、1000回を超える可能性があるということで、まさに冷戦期と同じような状況になりかねない状況になっています。国別・地域別ですけれども、25年度、ロシアが100回以上増加していったのですけれども、また、中国については、24年度に2倍、昨年度1.3倍というふうに着実に伸びています。5年前の活動に比べて1.3倍の伸びになっています。今年も中国の活動とロシアの活動は活発化している状況であります。

次に、我が国周辺における活動について、国別に紹介させていただきます。

まずロシアです。これは、ロシアの爆撃機、TU-95といえます。この爆撃機2機が、今年1月、日本海側を飛行した状況であります。経路は、日本地図の日本海側を通っている線、あの経路を通って、偵察活動か、もしくは、何かナビゲーションみたいな活動、詳しくは分かりません。実はこの4月、ロシアの活動が非常に顕著でしたので、この4月の活動について少しご紹介したいと思います。まず4月2日、TU-142、これは対潜哨戒機型ですが、これが2日間にわたって日本海を周回しています。続きましてIL-20という偵察機ですが、この偵察機がやはり日本海側を4月4日と6日、連続して行動しています。4月5日ですが、IL-38、これは対潜哨戒機ですが、日本海側を周回しております。先程言ったように、2日、4日、5日、6日と連続しているのです。次に4月10日ですが、IL-20、先程出てきましたけれども、偵察機であります。これがやはり日本海、主として日本海を偵察して飛行しているというのがロシアの動きであります。今度は4月11日、そして13日にIL-20、かなり日本に近接しているのですが、日本海側をずっと周回している。4月において非常に頻りに動いていますが、これは特異であります。こんなに連続して飛行することは、あまりありません。そして、4月14日、TU-95という爆撃機、それとIL-20が日本を一周したということで、プレゼンスを示しているようなイメージを取れるのではないかと思います。次の15日はTU-95が2機ずつ3回、全部で6機、この15日に飛んだということで、実は、これは今まで経験したことがありませんでした。私のレーダー管制官人生の中でも初めての事象でありました。4月16日と19日に、またIL-20の偵察機が飛んでいる。そして17日、またTU-95、それとIL-20が、コラボレーションして、日本周回に近い飛行をしている。4月18日、また同じようにTU-95が2機ずつ3回にわたって計6機が、飛んだということで、これは非常に稀有なことだと思っております。実は、4月は例のウクライナ情勢があったのです。それに反応したのではないかと、これは推測です。分かりません。

次、中国に移ります。中国の国防予算、どんどん伸びているという状況で、今年度の国防費が11兆円と言われております。国防費の伸びは、対前年比10%ずつ、ずっと伸びていると言われておりますので、日本をずっと凌駕してはいますが、今で言うと、日本の防衛予算の2.4倍と言われております。これが全て近代化につき込まれているというのが今の状況というふうに見えらるかと思えます。中国は国防白書に相当する武装力の多様な運用というものを出しました。この中には今後の中国の防衛力整備について書かれているのですが、特に記述されているのは、サイバー、宇宙、そういう記述が非常に多く見られるということと、あとは、情勢認識として、尖閣については日本が魚釣島で問題を起こしたという表現をして名指しをしているという状況になっています。あとは、軍の近代化を掲げた政策を色々打ち出しているというのが、内容ということになります。それでは引き続き、中国機の動向。南西域での活動が非常に活発化していますが、その一端を紹介したいと思います。まず始めに、昨年状況ですけれども、大体二月に一度ずつくらいの日への接近飛行をやっているのですが、日本に接近しないでも、

東シナ海での活動をしている飛行は非常に多いようです。その度に、南西域の航空自衛隊の那覇基地からスクランブル発進で状況の確認に行っているのが今の実情であります。その中でも顕著な例としてご紹介したいと思えます。まず無人機です。実は、尖閣の近くで飛んでいることを確認して、それに対して確認行為を行って緊急発進したのですが、あまり鮮明には捉えられませんでした。推定、無人機だろうと言われたいです。ただ、何をやるか分からないので、そのままで突っ込んで来たら、地上に被害を起す可能性もあると、その無機の状態です。この無人機に対する対応というのは非常に悩ましい話があります。この後に無人機が出てきたという記録がないので、今のところ、少し鞘が収まっているのかもしれませんが、次にY-12という飛行機、何かセスナ機みたいに見えますけれども、これも一応軍用機なものです。彼らは、これです偵察飛行を行っているといわれており、この経路については、尖閣列島の北側を飛行しています。ですから、那覇からスクランブル発進してこの尖閣を守るために、我が国の戦闘機が対応するというのが、大体常態化しているという状況であります。次にTU-154、Y-12という、これもセスナ機なものですけれども、やはりこういう形で活動している状況であります。あと、Y-8、それとH-6と書いてありますけれども、実はこれは爆撃機なものです。この爆撃機が3月に通峡したのです。通峡ってというのは、沖縄本島の近くにあるこの海峡を越えて太平洋方に入ったという、これはやはり特筆すべきことで、太平洋で活動できることを示しているわけです。今、そういう拡大傾向にあると。今、太平洋は赤サンゴ問題で非常に問題になっておりますけれども、もう、中国にとってみたらテリトリーになってきているというものが、彼らの今の動きと見ていいと思います。空の部分でもこういう形で進んでいるということでもあります。こういう形ですと、3月、4月とまた動いていましたので。これは、10月に、新しく、これは偵察機と思われるのですけれども、こういう形で4発のエンジンが付いている航空機が我々によって識別されました。Y-9といいます。これも、やはり尖閣の北側を飛行しているという状況でありました。そして、昨年、防空識別区という言葉をお聞きになったと思うのですが、中国は、防空識別区を設定しました。実は、我が航空自衛隊でも、防空識別圏というのを設定しています。ただ、防空識別圏というのは、あくまでも受動的な対応なのです。そこに入って来た航空機については識別をして、我が国の領空の許可を得た航空機かどうかの判別をします。大抵は民航機なので全部許可を受けているのですけれども、その中に紛れて来る航空機を我々が識別して、それをスクランブル対象にして、実際に目で確認に行くのが、対領空侵犯措置の流れなのです。中国もこのような形で防空識別区を設定しましたが、少し中国の防空識別区は色合いが違っているようなのです。この防空識別区に入ることで自体を、ある意味、許さないみたいないニュアンスがあるという、要するに、彼らのエリアだという感覚が少しあって、そこがずれているといえますか、そこが非常に問題になります。ここはあくまでも公海上空なので、本来であれば、自由にどの国でも航行できるわけです。南沙問題でも、ほとんど南沙諸島全部をうちのエリアだと主張しています。実は、公海上空の部分があるわけです。12海里以遠のところは全部公海と言われているんです。そういうふうな観念に立っていない部分があるので、この防空識別区を中国が設定した時点で、少し、我々も構えないといけない。このエリアに入らざるを得ない時にどういうふうに対応するかというのを考えないといけない、という状況になっております。今も続いて、ちょうど今年で1年になります。

続いて北朝鮮です。北朝鮮の弾道ミサイル、今少し落ちて着いています。実は、また核実験をするのではないかという話が持ち上がっていますが、まず弾道ミサイル、彼らとしては、やっぱり着々と進んでいるのだらうなと思います。ただ、核ミサイルにするかどうかというのは、我々としてもよく分からない状況です。しかしながら、弾道ミサイルの実験は、一昨年まで連続してやりましたので、それで、一応、最後の一昨年の12月に飛んだのですけれども、それはちゃんと成功させましたので、彼らには飛ばす技術力はあるというふうに見ています。行動半径については6千キロとも言われていますけれども、6千キロのエリアは大体このくらいのエリアで、グアムが入ります。これはアメリカとしても放っておけないという状況です。今後、開発すると1万キロというのを考えているということで、1万キロだと米国本土が入りますので、これは非常に米国にとっても由々しき状況というふうに見ているというふうを考えられます。一昨年12月の発射については、向こうは人工衛星と言っていますが、本当に人工衛星を積んでいたかどうかは分かりません。次に核実験です。大体、ミサイルを飛ばしたら、その後には核実験を行っています。核実験を最後にやったのは2013年の2月です。

簡単に述べてきましたけれども、時間ないので、防衛力整備について簡単にご紹介いたします。昨年の末に、安倍政権の中で、国家防衛戦略を作りまして、それで、防衛計画の大綱、そして中期防衛力整備計画ということで、防衛の3本の矢を作りました。その3本の矢の中心になるのが、実は、日米共同の話と、自衛隊として統合をしっかりと進めようという話、その2つが大きくあります。それに対して、あと、各国との信頼醸成を結びながら、そして、国際の平和をしっかりと培っていかうというのが趣旨になっております。そういう中で、中期防衛力整備計画として作られたのが、自衛隊の進む道の部分であります。陸海空ごとにそれぞれ方針があるのです。陸海空の中で、陸上自衛隊は機動化をしていかうというのが一つの主旨になっております。今までは固定的に戦車を使いながら、というのでしたが、戦車も機動戦車という考え方で機動化をしていかうと。ですから、師団も、名前が第七師団とか色々な師団と言っていた

のですけれども、機動師団という言葉を使うということで、機動力を重視した考え方になって
 います。海上自衛隊については、やはり船の大型化を進めようということに進んでいます。航
 空自衛隊は、高性能化です。「ステルス」はご存知でしょうか。F35戦闘機については、今、
 我々として機種選定して、導入に向けて今準備している段階ですが、このF35戦闘機を我々
 として導入することによって、少なくとも、周辺国に対する優位性を保っていくと、航空機
 の数としては少ないかもしれませんが、しかしながら、質で量をカバーする形で優位性を
 保つということ、導入を一刻も早くやろうというのが今の動きになっています。こういう形
 で、陸海空、それぞれ特徴的なところを活かした形で、今後の、今の尖閣を含めた、この南西
 域のもんだい状況、もしくはロシアを含めた北の方のエリアの状況について対応していこう
 というのが、今の自衛隊の動きというふうになります。
 流れとしてはそういう形で今進めているということ、ご理解頂ければと思います。またよろ
 しければ、奈良基地の方にお越し頂ければお話できるかと思ひます。本日はどうも有難うご
 ざいました。



ニコニコ箱

本日計 29,000円 累計 1,103,000円

- 徳矢和士郎君 息子の結婚のお祝いをいただき、ありがとうございました。
- 中井一男君 結婚記念のお花ありがとうございました御座いました。
- 土谷宗一君 箸尾さん、先週は大変お世話になりました。
- 野崎隆男君 本日、少しいいことができました。ニコニコに協力！
- 渡辺英孝君 ニコニコ協力
- 橋本和典君 ニコニコ協力
- 水野憲治君 ニコニコ協力
- 植倉一正君 ニコニコ協力
- 弓場裕史君 ニコニコ協力

例会変更のお知らせ

12月

- 平城京ロータリークラブ■
 - ・12月18日(木)・・・記念式典代休の為、休会。
 - ※ビジター受付：行いません。
- あすかロータリークラブ■
 - ・12月25日(木)・・・クラブ定款第5-1-3により、休会。
 - ※ビジター受付：行いません。
- 生駒ロータリークラブ■
 - ・12月24日(水)・・・家族親睦クリスマス例会の為、変更。
 - 月日：12月21日(日)
 - 場所：「シェラトン都ホテル大阪」
 - ※ビジター受付：致しません。
 - ・12月31日(水)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。
 - ※ビジター受付：致しません。

例会変更のお知らせ

12 月

- 大和高田ロータリークラブ■
 - ・12月16日(火)・・・親睦家族会に変更。
 - 場所：ホテルニューオータニ大阪
- ※ビジター受付：行いません。
- ・12月23日(火)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。
- ※ビジター受付：行いません。
- ・12月30日(火)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。
- ※ビジター受付：行いません。

- 奈良ロータリークラブ■
 - ・12月18日(木)・・・忘年家族例会の為、時間変更。
- ※ビジター受付：12:00-12:30まで奈良ホテルにて行います。

- 奈良西ロータリークラブ■
 - ・12月18日(木)・・・45周年記念例会の為、会場変更。
- ※ビジター受付：17:30-18:00まで奈良ロイヤルホテルフロント横にて行います。
- ・12月25日(木)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。
- ※ビジター受付：行いません。

1 月

- あすかロータリークラブ■
 - ・1月1日(木)・・・クラブ定款第5-1-3により、休会。
- ※ビジター受付：行いません。
- ・1月8日(木)・・・新年例会の為、日時・場所変更。
- 時間：18:00～
- 場所：橿原観光ホテル
- ※ビジター受付：1月8日12:00-12:30橿原ロイヤルホテルフロント横にて行います。

- やまとまほろばロータリークラブ■
 - ・1月1日(木)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。
- ※ビジター受付：行いません。
- ・1月8日(木)・・・新年例会の為、場所・時間変更。
- 時間：18:00～
- 場所：寿司政
- ※ビジター受付：1月8日12:00-12:30例会場
(駅前グリーンビル3F大和信用金庫別館3F)にて行います。

- 奈良ロータリークラブ■
 - ・1月1日(木)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。
- ※ビジター受付：行いません。

- 奈良西ロータリークラブ■
 - ・1月1日(木)・・・定款第6条第1節(C)により、休会。
- ※ビジター受付：行いません。
- ・1月8日(木)・・・新年例会の為、会場変更。
- 場所：霊山寺
- ※ビジター受付：17:30-18:00まで奈良ロイヤルホテルフロント横にて行います。

次週の例会

平成26年12月7日(日)
家族親睦例会